

工学及び社会科学分野との連携による成果の社会還元促進検討
ワーキンググループ（仮称）の設置について（案）

平成 29 年〇月〇〇日
地震調査研究推進本部
政 策 委 員 会
総 合 部 会

「新たな地震調査研究の推進について-地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進についての総合的かつ基本的な施策-」では、今後推進すべき地震調査研究として、防災、減災に向けた工学及び社会科学研究との連携強化が柱の一つに位置づけられている。

今般、地震調査研究推進本部の様々な成果が工学や社会科学などの研究分野で一層活用され、社会への還元を促進するため、土木学会をはじめとする関係者と具体的な連携方策を議論することを目的として、他分野との連携による成果の社会還元促進検討ワーキンググループ（仮称）（以下、「本 WG」という。）を設置する。

1. 審議事項

- (1) 土木学会との連携のあり方について
- (2) その他

2. 構成員等

- (1) 本 WG を構成する委員及び専門委員については、部会長が別途定める。
- (2) 本 WG に主査を置き、本 WG の構成員の中から部会長が指名する。
- (3) 主査は、本 WG に属さない委員及び専門委員、その他専門家を招へいし、意見を聴取することができる。